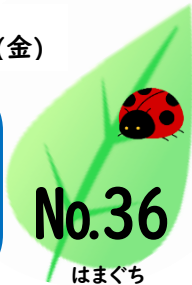




姿勢よく、まなざしも
まっすぐ!

SAKURA II



3月7日「旅立ちの日」特集



卒業おめでとう!

第6回伊勢宮川中学校卒業証書授与式

春の陽気に包まれた3月7日、伊勢宮川中学校自慢の76名の3年生が立派に巣立っていきました。全員参加の嬉しい卒業式となりました。一人一人と目を合わせて卒業証書を手渡すときに、アイコンタクトで「頑張ります!」と決意を伝えてくれているのを感じました。「素直さ」と「チームワークのよさ」が光る優しい学年でした。

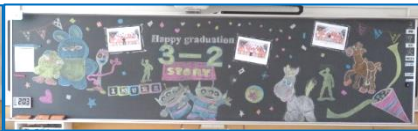
76人が次の着地点をめざして新たな旅立ち、「未来への分岐点」に立った瞬間を見届けることができ、本当に幸せに思います。コロナ禍の中、辛抱強く前向きに学校生活を送ってきた子どもたちが、「夢をあきらめずに努力すること」を大事にして「足跡のない方へ」突き進んでほしいと願っています。



1,2年生のみんな、ありがとう！

お世話になった先輩たちの旅立ちを祝うため、在校生が心を込めて校舎をきれいにしたり、式場設営に取り組んだりしてくれました。短い時間で集中して作業を進める姿が頼もしかったです。3年生の各教室の黒板アートもすてきでした。

こうやって、伝統が引き継がれていくのだと感じました。1年後は2年生が主役になる番です。



すてきな送辞・答辞でした

在校生を代表して荒木秀弥さんが送辞を朗々と述べてくれました。「見えない敵との戦いが続く中、毎日明るく過ごされていた先輩方の背中が大きく、たくましく、その姿はいつでも僕たちの憧れでした。」「頭をよぎる出来事は違うと思いますが、この3年間をこれからも忘れないでいてほしいです。」という言葉が印象的でした。

卒業生を代表して島谷羽乃依さんが答辞を堂々と読み上げてくれました。部活動の思い出や家族や地域の皆さん、先生たちへの感謝の言葉を具体的な内容を入れながら語ってくれました。在校生のみんなへは「みなさんとの日々はとても楽しいものでした。これからみなさんが学校生活を送る上で、辛かったり悲しかったりすることに出合うでしょう。でも、そんな時こそ、好きなことをしてください。みなさんが楽しい学校生活を送れることを願っています。」とメッセージをくれました。



【3月11日(土)を前に…】明日で東日本大震災から12年。地震が発生したのは、14時46分です。その時刻に、私たちは黙とうをささげるなどして犠牲になった方々のご冥福を祈り、命の大切さを改めて心に刻みたいと思います。(文部科学省からも知らせがありました)